

## 令和5年度 ゆめクラブ神奈川 第1回役員研修会の概要

老人クラブの解散や会員の減少が続いています。こうした中で、老人クラブだけの中の活動の見直しにとどまらず、周りの人々や地域との関係を育み、広げていく努力も大切ではないかと考え、今回の研修テーマとしました。

当日の3つの事例発表についてご報告します。

研修会実施日 令和5年7月21日(金)

会 場 かながわ県民センター

研修テーマ 「地域との連携～“豊かな地域力”の発揮～について考える」

(3つの事例発表)

1の「安針台地域の支え合い協議会」は、横須賀市の支え合い団体登録や友愛活動からスタートし、6年の活動経験を経て、さらなる課題の克服に向けて活動をしている事例であり、3つの中では最も成熟度の高い事例とも言えそうです。

2の「コーポ暮らしのネットワークづくり」は、分譲マンションでの老人クラブの友愛活動からスタートして、マンション内での支え合いの関係づくりへとネットワークを広げていく現在進行形の事例です。住民管理組合、民生委員・児童委員、などとのつながりを目指しています。

3の「老人クラブと行政機関や社会福祉協議会との関係づくり」は、南足柄市での事例をもとに、特に自治会に整備された地域福祉協議会(通称 地域福祉会)の活動が老人クラブ活動と競合する点に着目し、今後の地域の様々な組織との関係をどうしていくのか、現在模索中の事例です。

3つの事例発表をもとに、それぞれの地域での関係づくりの参考にしていただけだと考えています。

なお、それぞれの事例の末尾に、事例発表後の研修出席者と発表者間のQ&Aの概要を記載しました。

## 事例発表 1 安針台地域の支え合い協議会

### 横須賀市・シニアサークル安針台

- ・平成5年から開発された、マンションと戸建てが混在した地域
- ・シニアサークル安針台（老人クラブ）を平成17年に設立
- ・人口流入が少なく一気に高齢化への進展が心配される地域
- ・友愛チーム結成（平成28年）スタート ⇒ 会員へのアンケート調査
  - ⇒ アンセドフラン（シニアの生活支援活動）開始 平成29年
  - Anjindai Senior Dream Fraternity**（友愛・仲間）の略
  - ⇒ 安針台地域の支え合い活動連絡協議会発足 平成30年
  - 自治会、民生・児童委員、社会福祉協議会、自警会、友愛チーム、シニアサークル会長が連携した地域の支え合い

### 「安針台の地域の望ましい姿」を目指す

住民が世代を超えて相互に支え合っている(生活支援)。地域や人とのつながりが広がる活動の環境が整っている(生き甲斐)。在宅医療と医療介護の連携体制ができている(医療と介護)など。

### 地域支え合い連絡会の現状

- ・マンションの居住者情報を落とし込んだ「生活状況図」を作成し、特定の人の中で情報シートを共有、民生委員へ繋げている。

### (課題)

- ・住民全体の連絡ネットワークの構築。行政との連携強化。地区に店舗なく、地域のスーパー等との連携（通うためのバス等）。自治会館の整備。

Q 古くからの住民と新興住民との関係は？

A 戸建てとマンションと文化違った。時間をかけて古い文化を伝え、新しい地域への理解も次第に生まれた。

Q 生活支援活動の中身は？

A おもちゃの診療所からスタート ⇒ 電器の修理、ベッドの解体・・・へ広がった

Q 若い人が入会せず、人の世話をするリーダーがいなくなり、クラブ解散の傾向

A シニアサークル安針台は役員14名中の女性8名が実働部隊で活躍  
クラブ内で役割分担すると、責任を持ってくれるようになる

## 事例発表 2 コーポ暮らしのネットワークづくり

### 大和市・花みずきの会

分譲マンション（245世帯500人）

一人暮らし24%、70歳以上 84世帯（37%）、花みずきの会 会員81人

花みずきの会の活動の目標 「100歳の壁に挑戦するのは私たち」

・健康づくり、友愛活動、趣味のサークル（映画会、パソコン教室 等）

### 会員への生活アンケートを実施（平成25年）

- ・80歳代が31%、2人世帯が58%
  - ・高齢者施設・サービスを利用していない 85%
  - ・健康に不安・心配 38% 災害時に不安と心配 35%
- ⇒ 人と人とのつながりが必要と痛感

### 友愛チーム結成（平成26年）

活動の3本柱

- ・みんなの居場所づくり
- ・買い物困難者への支援「野菜の日」
- ・よろず・何でも相談

（これからの課題）

- ・継続したケアは困難でも、自分たちにできる支援をして、
- ・民生委員や地域包括センター、社会福祉協議会、市役所へつなげていく
- ・あとは見守り

### ⇒「コーポ暮らしのネットワーク会議」へ（令和5年2月）

マンション内の関係づくりで、高齢化に伴って増える生活票の困難（自身・緊急時対応、ゴミ出し当番、役員当番など）に問題を出し合い、共有化、知恵の出し合い、課題を解決していこう。私たち老人クラブ会員こそ「高齢社会」の当事者、発信者、主人公

- Q 買い物支援とは朝市のようなもの？ 以前試みたが、色々な注文が増え続かなかった。
- A ミニバンで近所の農家が団地へ運んでくる。野菜は重いから助かる。  
人の集まる場所になり顔の見える化ができる。売り上げの15%はクラブの活動資金。
- Q よろず・何でも相談について
- A 行政への相談の手前の相談。道端でも声を掛けられる。ちょっとした困りごと相談。

## 事例発表 3 老人クラブと行政機関・社会福祉協議会等との関係づくり

### 南足柄市・南足柄市老人クラブ連合会

富士フィルムの城下町と言われ老人クラブの関係者多い。  
全自治会に公民館・児童館があり、自治会の活動には積極的

### 行政機関等との関係

高齢介護課 市老連と足柄上ブロック連絡協議会の事務局  
生きがいと健康づくり推進事業の担当  
地域包括支援・市所有のバス管理 単位老人クラブで年2回使用できる。

この他、福祉課、秘書広報課、市民協働課、生涯学習課、教育委員会などでも老人クラブの活動に関連した業務があり、連携できることも多いと思われる。

### 社会福祉協議会との関係

34の自治会に33の地域福祉協議会(通称 地域福祉会)があり、社会福祉協議会の目玉的事业になっている。地域住民が担う福祉活動として、「見守り活動」や、日常生活での軽易な福祉ニーズ(ゴミ出し、草むしり、電器器具の修理など)を推進している。市には“お互い様ネット”というサービス利用者と提供者が互いに会員登録する有償ボランティアの仕組みもある。ただ、自治会の加入者が減っているという課題もある。

### 課題

- ・老人クラブの解散、休止が相次ぎ、趣味のサークルへ流れる人が増えている
- ・個人情報の保護に関する法律の改正で、自治会や社協から個人情報の名簿の提供が受けられず、老人クラブによる友愛チーム活動の継続が困難になっている。
- ・地域福祉会やお互い様ネットの活動は、老人クラブ活動と競合している。

⇒こうした状況の中で、老人クラブとして民生委員や自治会、社会福祉協議会などの様々なボランティア団体とどう連携していくのか、模索している。

- Q 地域福祉協議会と老人クラブは活動が重複しているとのことだが、社会福祉協議会はどちらの活動を重んじているのか？
- A それに答えることはできないが、自治会と社会福祉協議会、老人クラブの活動は関連している。自治会が衰退していくと、南足柄市の地域福祉会や老人クラブの活動も衰退していくのではないかと考えている。行政の自治会への支援強化が必要と考えている。